

【留意事項】

- (1) 運用容量値は、電圧や系統安定度などの制約により、変わる場合があります。備考欄をご参照願います。
  - ※1 1回線送電線(1バンク運用)のため1回線(1バンク)設備容量を記載
  - ※2 3回線送電線(3バンク運用)のため1回線(1バンク)故障時を考慮し2回線(2バンク)分の容量を記載
  - ※3 1回線(1バンク)故障時の電源抑制や系統切替を前提に時間を限定して使用できる設計上の熱容量を考慮
- (2) 空容量は目安であり、系統接続の前には、接続検討のお申込みによる詳細検討が必要となります。その結果、空容量が変更となる場合があります。
- (3) 原則として熱容量に基づく空容量を記載しております。その他の要因(電圧や系統安定度など)で運系制約が発生する場合があります。
- (4) N-1電制適用可否欄には、熱容量制約の解消を目的とした当該設備へのN-1電制の適用可否の目安を記載しております。系統接続の前には、接続検討のお申込みによる詳細検討が必要となります。その結果、適用可否が変更となる場合があります。適用不可の場合の理由は以下のとおりです。
  - #1 1回線送電線のため
  - #2 1バンク変電所(分割運用等含む)のため
  - #3 配電用変電所のため(高圧電源の系統連系の場合、N-1電制は対象外となります。)
- (5) N-1電制適用可能量欄には、熱容量制約の解消のため当該設備にN-1電制を適用した場合の適用可能量(上位系考慮なし)の目安を記載しております。系統接続の前には、接続検討のお申込みによる詳細検討が必要となります。その結果、適用可能量が変わる場合があります。なお、高圧系統に接続される電源の場合、N-1電制は対象外となります。
- (6) 発電設備等が連系する変圧器によっては、別途バンク逆潮流対策が必要になる可能性があります。
- (7) 3年以内に増強した系統へ連系する場合は、空容量の範囲内であっても、増強工事費の一部を負担いただくことがあります。
- (8) 社会的に影響を与えることが懸念される重要施設への供給系統に関する情報や、電力供給契約が特定できるような第三者情報などについては、公開しておりません。
- (9) 個々の電源の運転状況や需要者の電力使用状況が推測可能な電源線や専用線等であり、設備容量、運用容量、N-1電制可否、N-1電制可能量を非公開とする設備は、備考欄に「◇」を記載しております。
- (10) 平常時出力制御が必要となる設備欄は、平常時出力制御が発生する可能性について、想定潮流の合理化の考え方\*に基づいた将来の発電機出力・電力需要から想定し、該当設備を記載しております。
  - \* [https://www.occto.or.jp/access/oshirase/2017/180330\\_souteichoryu\\_gourika\\_shiryoutu.html](https://www.occto.or.jp/access/oshirase/2017/180330_souteichoryu_gourika_shiryoutu.html)

送電線 No	送電線名	電圧 (kV)	回線数	設備容量 (100%×回線数) (MW)	運用容量値 (MW)	運用容量制約要因	空容量(MW)		N-1電制適用可否	N-1電制適用可能量 (MW)	平常時出力制御の可能性	平常時出力制御が必要となる設備		備考
							当該設備	上位系等考慮				当該設備	上位系設備	
2	大麻線	66	2	268	134	熱容量	142	0	可	100	有り	—	変1	
3	大麻線	66	2	268	134	熱容量	140	0	可	100	有り	—	変1	
4	大麻線	66	2	268	134	熱容量	140	0	可	100	有り	—	変1	
5	大麻線	66	2	268	134	熱容量	132	0	可	100	有り	—	変1	
6	大麻線	66	2	182	91	熱容量	106	0	可	91	有り	—	変1	
8	厚別地中線	66	2	61	34	熱容量	34	0	可	27	有り	—	変1	
9	他社支線	66	2	—	—	熱容量	29	0	—	—	有り	—	変1	◇
10	丘珠支線	66	2	102	51	熱容量	50	0	可	51	有り	—	変1	
11	丘珠支線	66	2	—	—	熱容量	12	0	—	—	有り	—	変1	◇
12	拓北地中支線	66	2	138	80	熱容量	79	0	可	58	有り	—	変1	
14	野幌支線	66	2	62	31	熱容量	38	0	可	31	有り	—	変1	
16	他社支線	66	2	—	—	熱容量	6	0	—	—	有り	—	変1	◇
17	他社支線	66	2	—	—	熱容量	4	0	—	—	有り	—	変1	◇
18	他社地中支線	66	2	—	—	熱容量	31	0	—	—	有り	—	変1	◇
20	長沼線	66	2	148	74	熱容量	20	0	可	74	有り	—	変1	
21	長沼線	66	2	148	74	熱容量	20	0	可	74	有り	—	変1	
22	長沼線	66	2	148	74	熱容量	17	0	可	74	有り	—	変1	
23	長沼線	66	2	148	74	熱容量	18	0	可	74	有り	—	変1	
25	栗山線	66	2	112	56	熱容量	25	0	可	56	有り	—	変1	
27	夕張線	66	1	30	30	熱容量	0	0	不可 #1	—	有り	—	変1	※1
29	二股線	66	1	29	29	熱容量	0	0	不可 #1	—	有り	—	変1	※1
30	南清水沢支線	66	1	31	31	熱容量	3	0	不可 #1	—	有り	—	変1	※1
31	南清水沢支線	66	1	31	31	熱容量	1	0	不可 #1	—	有り	—	変1	※1
32	他社地中支線	66	1	—	—	熱容量	29	0	—	—	有り	—	変1	◇
33	上江別支線	66	2	98	49	熱容量	51	0	可	49	有り	—	変1	
35	他社線	66	1	—	—	熱容量	12	0	—	—	有り	—	変1	◇
37	二股線	66	1	30	30	熱容量	1	0	不可 #1	—	有り	—	変1	※1
39	二股線	66	1	—	—	熱容量	1	0	—	—	有り	—	変1	◇
40	清水沢支線	66	1	—	—	熱容量	9	0	—	—	有り	—	変1	◇
41	由仁線	66	1	40	40	熱容量	0	0	不可 #1	—	有り	—	変1	※1
43	三川線	66	1	40	40	熱容量	0	0	不可 #1	—	有り	—	変1	※1
45	川端線	66	1	36	36	熱容量	0	0	不可 #1	—	有り	—	変1	※1
46	滝下川端連絡線	66	1	40	40	熱容量	0	0	不可 #1	—	有り	—	変1	※1
47	滝下線	66	1	31	31	熱容量	3	0	不可 #1	—	有り	—	変1	※1
50	江別線	66	2	206	165	熱容量	0	0	可	41	有り	—	変1	※3
52	空知線	66	2	118	59	熱容量	33	0	可	59	有り	—	変1	
53	空知線	66	2	118	59	熱容量	34	0	可	59	有り	—	変1	
54	空知線	66	2	118	59	熱容量	41	0	可	59	有り	—	変1	
55	空知線	66	2	118	59	熱容量	41	0	可	59	有り	—	変1	
57	空知線	66	2	104	52	熱容量	28	0	可	52	有り	—	変1	
58	歳春別1号支線、2号支線	66	2	70	35	熱容量	11	0	可	35	有り	—	変1	
60	桂沢線	66	1	28	28	熱容量	6	0	不可 #1	—	有り	—	変1	※1
62	新篠津線	33	1	16	16	熱容量	15	0	不可 #1	—	有り	—	変1	※1
64	他社支線	66	1	—	—	熱容量	33	0	—	—	有り	—	変1	◇
65	他社支線	66	1	—	—	熱容量	23	0	—	—	有り	—	変1	◇
66	北村線	66	1	23	23	熱容量	23	0	不可 #1	—	有り	—	変1	※1
68	他社地中線	66	1	—	—	熱容量	19	0	—	—	有り	—	変1	◇
70	当別線	66	2	91	79	熱容量	0	0	可	12	有り	—	変1	※3
72	望来線	22	1	13	13	熱容量	0	0	不可 #1	—	有り	—	変1	※1
73	望来線	22	1	13	13	熱容量	5	0	不可 #1	—	有り	—	変1	※1
75	厚田線	22	1	7	7	熱容量	3	0	不可 #1	—	有り	—	変1	※1
76	厚田線	22	1	10	10	熱容量	10	0	不可 #1	—	有り	—	変1	※1
78	浜益線	22	1	7	7	熱容量	7	0	不可 #1	—	有り	—	変1	※1
79	浜益線	22	1	8	8	熱容量	8	0	不可 #1	—	有り	—	変1	※1
80	浜益線	22	1	8	8	熱容量	8	0	不可 #1	—	有り	—	変1	※1
81	浜益線	22	1	5	5	熱容量	5	0	不可 #1	—	有り	—	変1	※1
90	他社支線	22	1	—	—	熱容量	8	0	—	—	有り	—	変1	◇
91	他社支線	22	1	—	—	熱容量	6	0	—	—	有り	—	変1	◇
94	送毛支線	22	1	1	1	熱容量	1	0	不可 #1	—	有り	—	変1	※1

変電所 No	変電所名	電圧 (kV)		台数	設備容量 (100%×台数) (MW)	運用容量値 (MW)	運用容量 制約要因	空容量(MW)		N-1電制適用 可否	N-1電制 適用可能量 (MW)	平常時出 力制御の 可能性	平常時出力制御が必要となりうる設備		備考
		一次	二次					当該 設備	上位系等 考慮				当該 設備	上位系設備	
1	北江別変電所	187	66	3	300	234	熱容量	0	0	可	66	有り	対象	—	※2, ※3
7	大麻変電所	66	6.6	3	60	40	熱容量	20	0	不可 #3	—	有り	—	変1	※2
13	拓北変電所	66	6.6	2	40	20	熱容量	20	0	不可 #3	—	有り	—	変1	
15	野幌変電所	66	6.6	2	30	15	熱容量	15	0	不可 #3	—	有り	—	変1	
24	長沼変電所	66	6.6	2	20	10	熱容量	5	0	不可 #3	—	有り	—	変1	
26	栗山変電所	66	6.6	2	20	10	熱容量	5	0	不可 #3	—	有り	—	変1	
28	夕張変電所	66	6.6	2	12	6	熱容量	6	0	不可 #3	—	有り	—	変1	
34	上江別変電所	66	6.6	2	40	20	熱容量	20	0	不可 #3	—	有り	—	変1	
36	晩翠変電所	66	6.6	2	20	10	熱容量	8	0	不可 #3	—	有り	—	変1	
38	南大夕張変電所	66	6.6	1	6	6	熱容量	6	0	不可 #3	—	有り	—	変1	※1
42	由仁変電所	66	6.6	1	6	6	熱容量	6	0	不可 #3	—	有り	—	変1	※1
44	三川変電所	66	6.6	2	12	6	熱容量	0	0	不可 #3	—	有り	—	変1	
48	南清水沢変電所	66	6.6	2	16	6	熱容量	6	0	不可 #3	—	有り	—	変1	
51	江別変電所	66	6.6	3	45	30	熱容量	14	0	不可 #3	—	有り	—	変1	※2
56	岩見沢変電所	66	6.6	3	35	20	熱容量	8	0	不可 #3	—	有り	—	変1	※2
59	機春別変電所	66	6.6	2	16	6	熱容量	5	0	不可 #3	—	有り	—	変1	
61	幌向変電所	66	6.6	2	20	10	熱容量	5	0	不可 #3	—	有り	—	変1	
		66	33	1	6	6	熱容量	5	0	不可 #2	—	有り	—	変1	※1
63	新篠津配電塔	33	6.6	1	6	6	熱容量	4	0	不可 #3	—	有り	—	変1	※1
67	北村変電所	66	6.6	2	16	6	熱容量	6	0	不可 #3	—	有り	—	変1	
71	当別変電所	66	6.6	2	20	10	熱容量	9	0	不可 #3	—	有り	—	変1	
		66	22	1	15	15	熱容量	2	0	不可 #2	—	有り	—	変1	※1
74	望来変電所	22	6.6	1	6	6	熱容量	0	0	不可 #3	—	有り	—	変1	※1
77	厚田変電所	22	6.6	1	3	3	熱容量	2	0	不可 #3	—	有り	—	変1	※1
82	浜益変電所	22	6.6	1	3	3	熱容量	3	0	不可 #3	—	有り	—	変1	※1
92	濃星変電塔	22	6.6	1	0.2	0.2	熱容量	0	0	不可 #3	—	有り	—	変1	※1
93	尻苗変電所	22	6.6	1	3	3	熱容量	3	0	不可 #3	—	有り	—	変1	※1
95	送毛変電塔	22	6.6	1	0.3	0.3	熱容量	0	0	不可 #3	—	有り	—	変1	※1